

最適な組み合わせで仕上げ 回転数にこだわりの

低速に着目したのは柳瀬だ。今年3月に発売した電気コード式サンダー「YIG-100S76」の用途は、鏡面仕上げや足付け作業といった付加価値の高い加工。無負荷で毎分7600回転まで抑えたことで、高速回転では焼けて融けてしまうフェルト、不織ナイロン製の研磨ディスクを扱うのにも向いている。

低速専用に作り込んだので、トルクが強いのも特長だ。「変速サンダーを低速にして使う手もあるが、それではトルクが弱くなり、負荷がかかると止まってしまう」という。

発売に合わせて、低速サンダーと研磨材をセットにしたお薦めキットを用意した。横にも縦にも使え、縦に使えばヘアライン加工ができる「磨きPROセット1」などがそう。そのほかにも、バリに対応して傷ほかしにも使える「同セット2」、ステンレスの鏡面加工に向く「同セット3」を取り揃えている。

日本物流新聞 2019年4月25日



柳瀬の電気コード式サンダー「YIG-100S76」は低速にこだわった